

高齢者向け再成形ソフト食の権利化支援

荒木アドバイザーによる支援

山形県工業技術センターからの紹介で、企業訪問したことをきっかけに支援開始

特許出願に向けたサポート

- 特許制度の概要を説明
- 連携企業との共同開発成果の帰属、自社独自技術の整理、明確化の支援
- 特許電子図書館(IPDL)を利用した先行技術調査の指導
- 抽出特許文献の読み方、利用発明の扱い、特許要件の判断等の支援
- 幅広い権利範囲取得に向けた特許網形成の出願戦略の支援
- 出願書類作成の支援

株式会社ベスト

◆ 目前に迫る「超高齢化社会」に向けて、食の安全・安心、さらには楽しめる食事の提供による社会貢献を目指し、開発を進めた

◆ 独自技術を持つ異分野企業との連携により、高付加価値の再成形ソフト食を完成させた

開発成果を特許で保護したい！
各種中小企業向け支援を活用したい！
社内の知財スキルを向上させたい！

特許情報活用による成果

先行技術調査から出願まですべて社内処理による初めての特許出願を完了
▶ 特願2008-274178

- 知的財産保護の重要性を認識！
- 自社出願により知財スキルが大幅にUP！
地元新聞でも話題に！

この支援によって開発・販売された商品

商品名「まろやか食専科」(再成形ソフト食)

美しさはもとより、“自然であること”と“健康”を大切にしながら、食の楽しさと価値を追求し、ご提案し続けるという基本姿勢を形にしました。

噛むことや、飲み込むところが困難な方向への、柔らかく飲み込みやすく、そして、見た目も大切にしたい手作り食材です。

支援先企業の概要

- 会社名 株式会社ベスト
- 代表取締役 斎藤秀紀
- 住所 山形県鶴岡市布目字宮田
- 設立 1985年
- 資本金 1,000万円
- ホームページ <http://www.best-ryoushoku.jp/>

荒木 正弘(山形県知的所有権センター)特許情報活用支援アドバイザーの一言

株式会社ベストは、前身である「庄内療食センター」の頃より、地域の食文化の形成に大きく貢献してきました。平成17年からは、新規事業としてソフト介護食の研究開発に着手され、異業種技術との連携によって高付加価値の再成形ソフト食を完成させました。

新製品の特許権を取得したいと相談を受け、支援が始まりました。先行技術調査や出願書類の作成等をすべて社内で行うという挑戦意欲が明確であったため、特許出願に向け開発の進行状況に合わせて全面的に支援を行いました。特に、先行技術調査の結果、関連特許が数多く抽出されたため、進歩性等の判断の仕方や請求項の組み立て方を慎重に行うよう助言いたしました。

また、共同開発成果の帰属、自社独自技術の整理等困難な問題を解決して、初めて特許出願を行うことができました。さらに全てを社内処理で行ったことにより知財のスキルアップにもつながったものと思います。



平成21年9月現在

